



公明党
池田 けい子

みんなで支え合い、つながる地域社会をめざして

みんなで取組み、変えよう！

問 多摩市の「平和」への取組みについて伺うとともに、植樹して10年の「被爆アオギリ2世」の啓発・周知を要望するがいかがが。

答 平和展において戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、子ども被爆地派遣事業の歴代派遣員には継続して活動できる場づくりに着手している。多摩中央公園内において、アオギリの紹介掲示板の設置など検討していく。

問 環境問題は大人が責任をもって取組むべき問題である。ペットボトルの排出ルールは徹底されてきたが、マナーが守られていない現状について見解を伺う。

答 集積所の改善に向けた啓発を行う。

問 依然として減らないタバコのポイ捨て、歩きタバコ、重点区域内の喫煙所の場所について再検討を求めるがいかがが。

答 市民の行動変容に向け、周知啓発に取組み、喫煙所については検討していく。

問 会員の減少や高齢化による役員の成り手不足が生じている自治会等への具体的な支援を求めるがいかがが。

答 活動を支える「しくみ・しかけ」が必要であり、

デジタル技術活用を検討していく。

みんなで健幸安全に暮らそう！

問 老朽化による下水道管の事故が全国で相次いでいる。市の現状を伺うとともに、多発している悪質業者などの詐欺に対して、市民に注意喚起をお願いしたいがいかがが。

答 緊急点検を実施し安全を確認した。詐欺等への注意喚起を行っていく。

問 若者の心身の健康を守るため、まちの保健室「ユースクリニック」が注目を浴びている。市内の設置を望むが見解を伺う。

答 重要性は感じている。研究していく。

問 介護予防リーダー等の担い手に、学生等の活用を提案するがいかがが。

答 高齢者の方々が健康的な行動を続けていただけるよう、検討し取組んでいく。

問 非常時の備えには限界がある。日常生活の質を高めながら非常時(災害対応)にも役立つ「フェーズフリー」の考え方を取入れ、まちづくりを行うべきではないか。

答 「防災都市多摩」をめざし、まずは防災からフェーズフリーを進めていく。



日本共産党
大くま 真一

平和、命、暮らしをまもり、住民と共にある市政を

基礎自治体は悪政の最後の防波堤

問 平和は基本的人権を保障し、住民の生命・財産をまもる土台。核廃絶を実現し、抑止力論からの脱却が必要ではないか。

答 平和首長会議の一員として取組みを進める。

問 物価高騰と負担能力に応じた税負担の原則を壊す消費税が住民の暮らしを追いこむ中、政府は命・暮らしを軽視し、大軍拡を進めている。高額療養費の引き上げ検討はその象徴。「80億円足りない」、「物価高騰で市も大変」ではなく、住民に寄り添った対応・打ち出しが必要ではないか。

答 住民の暮らしが大変な状況は認識している。引き続き暮らしを支えていく。

問 東日本大震災・福島第一原発事故から14年。「自助・共助・公助」と言われながら、災害対応やインフラ整備において「公助」が弱められてきた。いわゆる「非正規公務員」や「民間委託」への依存

は、市のノウハウ蓄積や公的責任を果たすことを阻害しかねない。認識を伺う。

答 公的責任を果たしていく。民間委託・PFIなどの「手法ありき」ではなく最適な手法を選択していく。

住民と共につくる多摩市に

問 「協創サポーター制度」は単なる「体験」ではなく、住民とタッグを組んで動ける仕組みづくりを急ぐ必要があるのではないか。

答 仕組みづくりを進める。

問 コミュニティ施設・児童館の二つの「今後のあり方基本方針」は市民との信頼関係を再び壊しかねない。市民との適切な協議が必要ではないか。

答 基本方針では市の考えを示した。引き続き住民との協議を重ね、真摯に対応を続ける。

